県・市町村における取組状況

市町村における取組

市町村における取組事例（JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議）

【R6】JR赤穂線沿線地域ストーリー動画の作成

【R7】TikTok等のショート動画の作成

市町村における取組事例（伯備線沿線３市観光連携協議会など）

【Ｒ６】撮り旅ツアーの実施（伯備線沿線連携事業）

JR伯備線の備中川面駅周辺を集合地点とし、撮影スポットを巡るツアーを開催

▲R6撮り旅ツアーの様子

【Ｒ７】撮り鉄マナーアップ事業

・高梁市・総社市に新たに新見市を加え、『伯備線沿線３市観光連携協議会』を設立
・R6に引き続き、撮り鉄クイズ、撮り旅ツアーを実施。
・今年度は新たに、撮影＆SNSセミナーも実施。

市町村における取組事例（津山圏域公共交通連絡協議会）

【Ｒ７】公共交通利用促進スタンプラリー

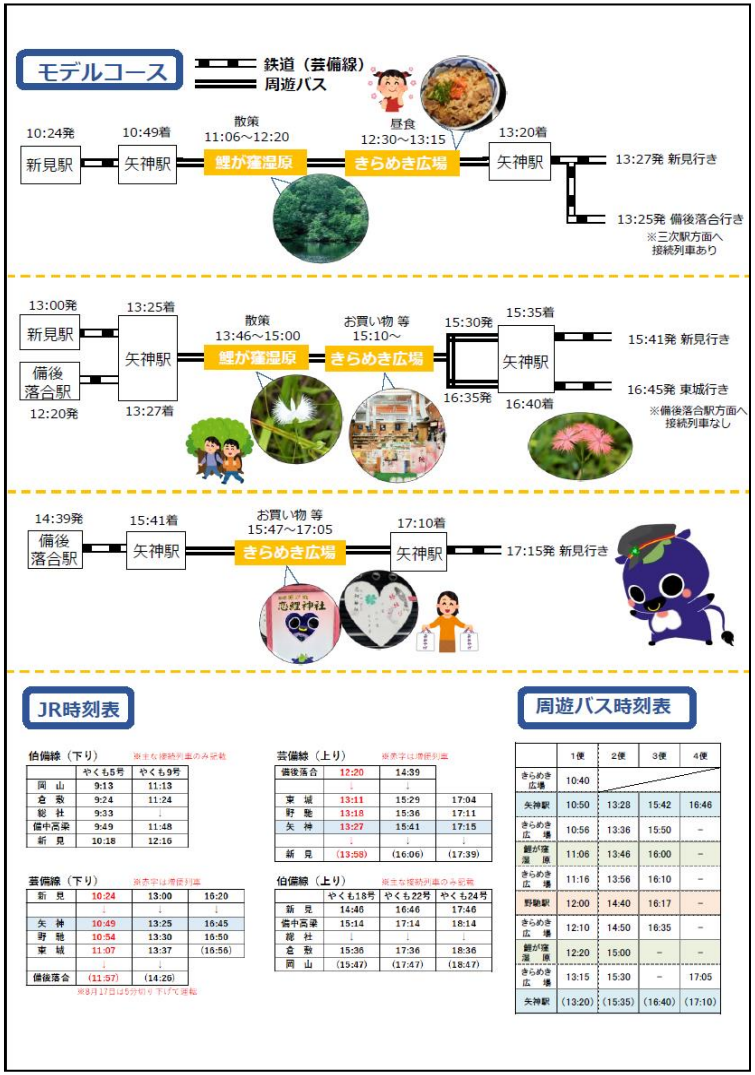
（チラシ表面）

（裏面）

市町村における取組事例（新見市ほか）

【R７】芸備線利用促進事業

芸備線再構築協議会では、地域経済効果の最大化及び検証を目的に実証事業を実施。
７月より芸備線の増便や二次交通の運行を開始。



市町村における取組（令和７年度）①

〇鉄道の利便性向上（二次交通の整備を含む）

市町村	事業名	実施主体	事業内容
玉野市	観光客受入対策事業	瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会	瀬戸内国際芸術祭2025宇野港エリアでの芸術祭シャトルバスの運行。
玉野市	スチューデントガイドプログラム事業	瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会	宇野駅周辺において、訪れた観光客に対し、観光案内を行う。
玉野市	外国人観光客案内業務	玉野市	宇野駅周辺において、訪れた外国人観光客に対し、英語で観光案内を行う。
玉野市	宇野線利用促進対策事業	宇野線利用促進対策協議会（玉野商工会議所内）	・時刻表のほか、駅周辺の観光マップ、接続するコミュニティ交通などの情報をHP等で発信し、利用促進を図る。 ・JR乗り方教室の開催
井原市	井原線利用団体無料観光バス運行事業	井原市	鉄道井原線を利用し、市外から本市を訪れる10名以上の団体観光客に対し、井原駅から観光地までの交通手段として無料観光バスを運行するもの。また、井原市内で行われるイベントの際には、井原駅からイベント会場間の1往復について無料運行するもの。
備前市	ひなせかきPR事業	ひなせかき祭実行委員会	ひなせかき祭においてJR日生駅前から会場の五味の市までを無料のシャトル船を運航予定。また、日生病院前から日生認定こども園前、頭島市営P間でシャトルバスを運行予定。
新見市	芸備線利用促進事業	新見市	市内の芸備線各駅へのアクセスを改善するため、市営バスの増便・時刻変更や、乗合タクシー試験運行を引き続き実施する。

市町村における取組（令和７年度）②

〇利用助成

市町村	事業名	実施主体	事業内容
井原市	井原線利用促進活動補助事業	井原線振興対策協議会	団体又は貸切で井原線を利用した場合、乗車料金・貸切価格の一部を助成するもの（補助率：1/2）。 ①5人～9人の団体は、上限3,000円 ②10人～19人の団体は、上限5,000円 ③20人以上の団体は、上限10,000円 ④車両を貸切で利用する場合、上限20,000円
高梁市	高梁市高等学校生徒鉄道通学費補助事業	高梁市	高梁市内の高校に鉄道を利用し通学定期券を使用して通学する高校生に、通学定期券購入費用の一部（定期券購入費用の1/4、年度内3万円まで）を補助。
新見市	高校魅力化推進事業	新見市	保護者の負担を軽減し、市内高校の魅力向上を図るため、公共交通機関で通学している生徒に定期券購入の半額を助成する。（ただし、令和7年度以降入学生は対象外）
備前市	備前緑陽高等学校サポート事業	備前市	公共交通機関を利用して通学する生徒の通学定期券購入費用の2分の1を助成する。
真庭市	利用促進補助事業	真庭市	JR姫新線を利用する5人以上の団体に対し、乗車券購入費用の1／2（一人当たり片道500円、往復1,000円上限）を補助 JR姫新線を活用した社会学習を実施する学校等に対し、乗車券購入費を全額、駅までの移動手段に係る費用の1／2(上限5万円)を補助 JR姫新線を活用した地域活性化イベントに対し、経費の一部（上限30万円）を補助
美作市	公共交通機関利用促進事業	美作市	岡山県美作ラグビーサッカー場で行われる岡山湯郷ベルのホームゲーム観戦と、JR利用を組み合わせ鉄道利用の促進を図る。
吉備中央町	高校生通学費等補助金交付事業	吉備中央町	町内から生徒の通学する高等学校等までの間を路線バス又は電車で通学し、定期券等を購入する場合、定期券等の購入費用を2分の1を補助する。

市町村における取組（令和７年度）③

○イベント、キャンペーンなど

市町村	事業名	実施主体	事業内容
津山市	公共交通の乗り方教室	津山市	鉄道等の乗車方法等の説明や実際に鉄道等に乗車し、観光地等を周遊。
津山市	公共交通乗り方教室	津山圏域公共交通連絡協議会	各市町の中学生を対象に「JRやバスの乗り方教室」を実施。
玉野市	観光客受入対策事業	瀬戸内国際芸術祭たまの☆おもてなし推進委員会	瀬戸内国際芸術祭2025宇野港エリア独自のオープニング記念イベントを実施。
玉野市	みなとオアシス観光客受入対策事業	玉野市	観光列車「ラ・マルド・ボア」の運行日等に合わせて「みなとオアシス宇野マルシェ」を開催。
井原市	井原線感謝デー	井原線振興対策協議会	井原鉄道㈱との共催により、「井原線感謝デー～１日乗り放題＆わくわくスタンプラリー～」を令和8年1月11日（日）に開催予定。
井原市	井原線の魅力向上事業	井原線振興対策協議会	井原線の魅力を向上し、利用促進に繋げるため、次の事業を実施予定。 ①井原線デジタルスタンプラリー ②井原線こども絵画コンテスト
井原市	井原線沿線周遊モデルコース開拓事業	井原線沿線観光連盟	井原線沿線外からの観光客誘致の増大を図ることを目的とした井原線沿線周遊モデルコースを開拓するための事業。
備前市	備前片上ひなめぐりPR	備前片上ひなめぐり実行委員会	片上商店街（JR赤穂線・西片上駅すぐ）にて「備前片上ひなめぐり」を実施（26回目の開催）予定。広報時には広くJRの利用を呼びかける。
備前市	備前焼振興事業	備前市	主にJR伊部駅前周辺の作家・窯元が協力店として参加する「備前焼フェア」を春夏の計2回、秋には「備前焼まつり」を開催予定。

市町村における取組（令和７年度）④

〇イベント、キャンペーンなど

市町村	事業名	実施主体	事業内容
高梁市	銀河おもてなし事業	高梁市	「WEST EXPRESS銀河(山陰ルート)」の備中高梁駅への停車に伴い、高梁の魅力向上、再訪動機に結びつけるため、おもてなしを近隣自治体や関係団体と連携し実施する。
高梁市	撮り鉄おもてなし事業	川面ひとよせチーム	伯備線備中川面駅周辺に県内外から訪れる「撮り鉄」の方のおもてなしとして、近隣に臨時駐車場の無料開放や飲み物の提供を実施する。
新見市	新見市鉄道利用促進事業	新見市鉄道利用促進協議会	鉄道利用者の中から抽選で賞品を贈る利用促進への取組、近隣自治体と連携したイベントの開催、新見市オリジナルICOCAを活用した利用促進、新見駅と連携した取組などを行う。
新見市	新見市公募型鉄道利用促進事業	新見市	民間と行政の知恵と力を合わせ、市民と協働による利用促進を図るため、市民団体等から企画実施する事業を公募し、提案団体へ委託して実施する。
総社市 高梁市 新見市	伯備線沿線3市(総社市・高梁市・新見市)観光連携協議会での誘客事業	伯備線沿線3市(総社市・高梁市・新見市)観光連携協議会	伯備線沿線の総社市・高梁市・新見市が連携し、鉄道関係をはじめとする観光誘客事業を実施する。
新見市	鉄道を利用した観光振興アドバイザー事業	新見市	鉄道カメラマン坪内政美氏と鉄道を利用した観光振興アドバイザー契約を結んでおり、氏の知見を活かし、鉄道利用促進や観光振興につながる事業を実施する。

市町村における取組（令和７年度）⑤

〇イベント、キャンペーンなど

市町村	事業名	実施主体	事業内容
真庭市	まに鉄フェスタ	真庭市	中国勝山駅、久世駅、美作落合駅の３駅の駅前で利用意識の醸成につながるイベントを開催
真庭市	株主優待活用事業	真庭市	株主優待鉄道割引券などを活用し、真庭市内の児童生徒の万博訪問の鉄道移動補助「真庭こども万博訪問応援」を実施。また、優待の使い方アイデア募集「JR西日本株主優待活用アイデア」を公募し、鉄道の関心を高める。
勝央町	JR利用促進チラシの掲示・広報	勝央町	作成した鉄道の日常利用を呼び掛けるチラシを、勝間田駅等に設置し利用促進を図る。
勝央町	環境整備	勝間田高校	地元勝間田高校の生徒による清掃活動、花プランター設置などを行う。
備前市	広域連携事業	東備西播定住自立圏域JR利用促進協議会	JRを利用した際の写真をインスタグラムで投稿してもらうフォトコンテストを実施し、利用促進を図る。
備前市、瀬戸内市	広域連携事業	JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議	TikTok等のショート動画を活用しJR赤穂線沿線地域の魅力を発信する。 かきシーズンにおいてJR赤穂線沿線地域の牡蠣のプロモーションを実施する。
津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町	公共交通利用促進スタンプラリー	津山圏域公共交通連絡協議会	公共交通（鉄道に限らない）を利用して訪れることのできるポイントを巡るスタンプラリーを実施。

県における取組

地域公共交通維持確保支援事業

＜R７予算額＞48,000千円

市町村等が行う地域の実情を踏まえた交通手段の導入や、公共交通の利便性向上のための取組に対する補助

＜補助対象経費＞

１　地域内交通（バス・デマンド交通等）の維持・確保に関するもの

２　重点的に支援するもの

事業区分	補助対象経費	補助率	補助限度額
（エ） 地域公共交通計画策定支援事業	・地域公共交通計画の新規策定	１／２以内	2,500千円
（オ） 鉄道利用促進事業	・鉄道の利用促進に係るもの （環境改善事業を除く）	１／２以内	2,500千円
（カ） DX推進事業	・地域公共交通のDXの推進に係るもの	１／２以内	2,500千円
交付上限額			5,000千円

令和７年度　公共交通利用促進事業

①公共交通利用促進キャンペーン事業

・公共交通の良さや大切さなどをPRし、公共交通に対する関心を高めるような啓発動画の作成・配信を行うとともに、電車やバス等へ実際に乗車するきっかけづくりとなるような全県的なイベントを秋以降に実施

②県内各地で開催されるイベントへ出展

・利用促進啓発グッズの配布
・公共交通で来場した方への特典
・公共交通利便性向上のための調査の実施

③懸垂幕の掲出

・県庁舎において、公共交通の利用促進をPRする懸垂幕を掲出